

プリムラ
山の会
101

百巻

百巻

百巻号

プリムラ山の会(通巻 百巻号) 2016年3月2日発行

発行人: 大坪邦久 発行所: 東京都八王子市散田町3-38-6B 編集/デザイン: mizunodesign.com

PRIMULA CUNEIFORIA BULLETIN



プリムラ
山の会
101

百巻

Primula

primula.ac@gmail.com http://primula.mizunodesign.com

編集/デザイン: mizunodesign.com

カラムラ百巻号

もくじ

Couloir クーロワール	2 頁
In a Shot	岡 孝雄 3 頁
百巻号のお題 -- 大勢で"行く山 一人で"行く山 --	4 頁
積雪期のマイナールートも楽しいワンU^E^U その21 - 南ア・農鳥岳・大唐松尾根の巻 -	初鹿 裕康 5 頁
甲斐駒ヶ岳、黄連谷右俣	佐藤 正俊 9 頁
子連れハイク (4 歳)	市瀬 江利子 11 頁
アイスクライミング、延べ15日間	佐藤 正俊 16 頁
景色を見ながら!	初鹿 裕康 20 頁
なほみさんのいつまで"やってんだ"クライミング日記	氷野 奈保美 23 頁
山行一覽 (1) 2015 年 11 月 13 日 ~ 2016 年 1 月 2 日	26 頁
山行一覽 (2) 2016 年 12 月 31 日 ~ 2 月 12 日	27 頁
2015 撮影実績表	岡 孝雄 28
編後記ですよ	32 頁

カリムラ百売号

Couloir

-- クーロワール --

最近、「日本登山大系」が普及

版として売られている。

中身は前と全く一緒である。やるなあ白水社。白山書房も昔「山スキールート図集」でルート図の中に〇〇スキー場と新たに追加だけの新刊？を出してたりしたけど（もちろんそんなルート図見て、山スキーには行けないよね。なんせゲレンデになってるんだから）。いずれにしてもやはり出版不況故なのか？

さて、「日本登山大系」である。

よく図書館に置いてあ

ったが、最近では処分されてしまったのか図書館からなくなっていたり、閉架図書になっていることが多い。まあ、ネタも随分古くなってしまったから仕方がないか。山ヤのバイブルだったけどね。山の計画は昔は登山大系やガイドブック、紙媒体の物で計画を立てることが多かった。今はご多分にもれず、ネットサーフィンしながら、ルートを探していることが多い。まあ、計画を立てる上で、メンバーの力量もしかりだが、

実際には、思いがけないトラブルや、荒天にはまった時にどうするかまで考えておくことが重要だ。山の天気が急変することはよくあることだ。長い山行やバリエーションならエスケープルートをどうするかに関しては（簡単に戻る訳にもいかないのに）、さらに大事なことになってくるだろう。

山行は 計画段階で80%

が終わっていると

言われている。確かに場所の選定から計画を立てるための時間とエネルギーは膨大だ。でも、本当に登れるかどうかは、その残り20%のパーティの力量やモチベーションにかかっているのだろう。実際には最終的に自分の目を見て、行けるかどうかの判断をせねばならぬ。

いずれ にしても、やはり

山登りは、みんな
で考えて計画を立て、実行するのが一番楽しい。登ればさらに良い(^o^)



プリムラ結成以前、4月に
合からIV尾根を登った。その頃
はヨーロッパアルプスを目指
してトレーニングに明け暮れ、
若く体力的にも一番充実して
いたのであろう。1975年26
歳であった。

写真撮影に没頭してからいつも
心の中で温めていた滝谷。発表され
ている写真の多くは南岳や北穂からのもの
で、大変素晴らしいものがあるが、今の私には
上に登っての撮影は体力的にもかなわない事を理
由に下からの撮影となった。

鍋平高原での錫杖岳撮影後、夕刻の光に浮かぶ
滝谷を出合から撮影すべく、キャップライト覚悟
で蒲田川右股林道に行く。白出沢までは林道で快
適であったが、そこを過ぎると膝下位の軽いラッ
セル。幸いトレールが少し残っていたので助かっ

プリムラ
百巻号

In a shot

小春日和の滝谷

岡 孝雄

2015.12.07 撮影

た。小屋は昔と変わらずにヒッソ
リと左岸に建ち、言い伝えもあり
何だか中に入るのに躊躇する。
今冬は雪の訪れが遅く見
上げる滝谷は黒々としている。
雄滝雌滝の氷の発達はいまい
ちで、前日固定した氷漬けのザ
イルをユマーリングした記憶など

思い出しながら夕刻を待つ。色付きが
何となく進まないのでイライラしてくるが、
考えてみればこの時期の太陽高度は低く、仕方な
いのであろう。それでも周囲の雪の反射で何となく
赤みがさすので安心した。長いレンズで覗くと
北穂小屋の屋根が光っている。想像していたよう
な壮絶な壁には出会えなかったものの、明るく開
放的な滝谷に出逢へ多いに満足した。

まさに小春日和の滝谷だ！！

百巻号のお題

大勢で"行く山" 一人で"行く山"

山に大 勢で行くことはあまり考えられない。単独の山歩きが主で、テント場以外の場所で泊まる時（一人では耐えがたいから）、ロープが必要になるとき（安全確保のため）、人と行く。

今年の ドロミテは1人だったが、今年は4人で、しかもみな酒飲みである。飲み過ぎて登れなくなるのが心配である。

カリム ラに入会して、大勢で行く山が増えた。それまでは、少人数もしくは一人で行くことが多かった。火打の山スキーも、真の沢の沢登りも、小出俣の雪洞山行も、錫杖のクライミングもなつかしい。最近はなかなか大勢で行く山行が成立しなくなって、寂しい気がする。

最近は 2～3人か大勢で行く山が多い。でも大勢のテントは疲れるので、冬は特に小屋泊りだと嬉しい。昔は一人も好きだった。自分を鍛える山はソロの方が良いのかもしれない。

永遠の パートナー問題。ひとりでクライミング出来る技量も力もないので、思い切ってクライミングやめるか、ボルダラーになるか。または寄せ集め隊でも平気にならないとね。まあ平気だけど。頼りにしていた関係が崩れると全く最悪だ。

やっぱり り、雪洞の練習かねて宴会っていうのが大勢で行く山？「何のために雪洞掘るの」って言われても何のためでもありません。山は楽しければいいんです、(^o^)。1人で行くのはやっぱりトレランくらいかな。

基本寂 しがり屋なので、一人で行くことは、ほとんどない。たまに、一人で行くけど、最初は新鮮で楽しいけど、すぐに、なんとなく物足りなく感じてしまう。でも、一人で決めて行動することも、本当は大切なんだよね。一人だと好きなように計画を立てられる分、強い意志が必要で、今の私の場合、気持ちに負けてしまいそう。なので、単独で行く山屋さんを尊敬する。

積雪期のマイナールートも楽しいワンU^ェ^U その21 —南ア・農鳥岳・大唐松尾根の巻—

初鹿 裕康

【コースタイム】

12/29 晴

奈良田温泉(9:11)－開運トンネル(9:44)(9:59)

－展望台(10:47)(11:02)－雨池山直下(14:59)

12/30 晴

(7:41)－大唐松山(12:45)(13:08)－2540m (15:40)

12/31 晴

(8:05)－2885m (15:19)

1/1 地吹雪/晴

(9:58)－稜線(11:19)－農鳥岳(12:07)

－大門沢下降点(12:43)－大門沢小屋(15:33)

1/2晴

(5:34)－吊り橋(7:58)－登山口(8:21)

－開運トンネル(8:50)－奈良田温泉(9:19)



間ノ岳と北岳が垣間見えた

【パーティ】初鹿裕康、山里守広

今年は久しぶりに二人だけの年末年始になった。山ちゃんは、このところ、めっきり山行回数も減ってしまったので、体力とモチベーションが不安だが(モチはいつもか)、まあ経験値でなんとかなるでしょ。場所は10月位に探して見つけておいた、農鳥岳のマイナールート。

今年は積雪が少なくどうなることやら。

28日夜発。久しぶりの電車である。しかもステーションビバークの予定。身延線は無人駅だらけなのだが、なるべく静かな場所がいいと思ってネットで探してみる。最近無人駅になってしまった「鯉沢口」駅にすることに。丁度最終電車の終点なのでいいかな。しかし駅に降りてびっくり。なんと駅舎の建て替え中。屋根のあるところは駅

の中の通路しかないが、天気もいいし、外の広場でシュラフに潜り込む。結構良く眠れたが、シュラフにはしっかり霜が降りていた。

12/29

朝一の電車で下部温泉へ。前は身延駅から出発のバスだったが、山梨交通が撤退したので町営となって下部温泉も通るようになった。始発のバスで奈良田温泉へ。奈良田のバス停でのろのろ準備をして出発。

開運トンネルから別れて、大門沢へ向かう林道のすぐ途中の、山の神の所から急な斜面に取り着く。すぐに鉄柵のある巡視道に出る。これでもかと言う位のかなり急な斜面を登って(山ちゃんは大分ビビっていた)給水施設の展望台に出る。ここで大休止。ここからさらに鉄塔まで巡視路をた

どる。ここからが登山道？。たまに赤布とか切り株とかがあるので思ったより道は分かりやすい、いつのかは分からないけど踏み跡も所々に残っていた。雪がなかなか出てこないので本日の水が心配になるが、やはりというか2000m前後になって来ると、ところどころに積雪が。

結局雨池山(1936m)直下でテント泊。初日は山ちゃんが卵が割れちゃうからとか言って、食当の順番を交代して親子丼を作る。なぜ、今言う？

12/30

翌朝は α 米のピラフ。大唐松山までが意外と遠い。2500m前後の山を登り下り。結構岩場っぽい所もあって、巻き道を探したりして四苦八苦。古いトレースが結構目印になってくれて助かる。大唐松山を抜けてからもアップダウン岩場あり。

途中の吹き溜まりの所で山ちゃんが「わかんにしようとか」と言うので(まあ、ここだけなんだろうなあと思いつつも、ここはパートナーの意思を尊重)、仕方がなくわかんに履き替える。でも、10歩歩いて、やっぱりすぐアイゼンに戻す。山ちゃんも気が済んだかな。途中で泊となる。それにしても連日抜けるような青空。年末年始とは思えない。

今日は白菜鍋(具は豚肉、マイタケ、フリーズドライ白菜、鍋用のインスタントうどん)。例年

はペミカンを作ってくるのだが、今年は軽量化を図ってみた(山ちゃんだけだしね)。この日のために購入しておいたフリーズドライの白菜は思いのほかいけた。

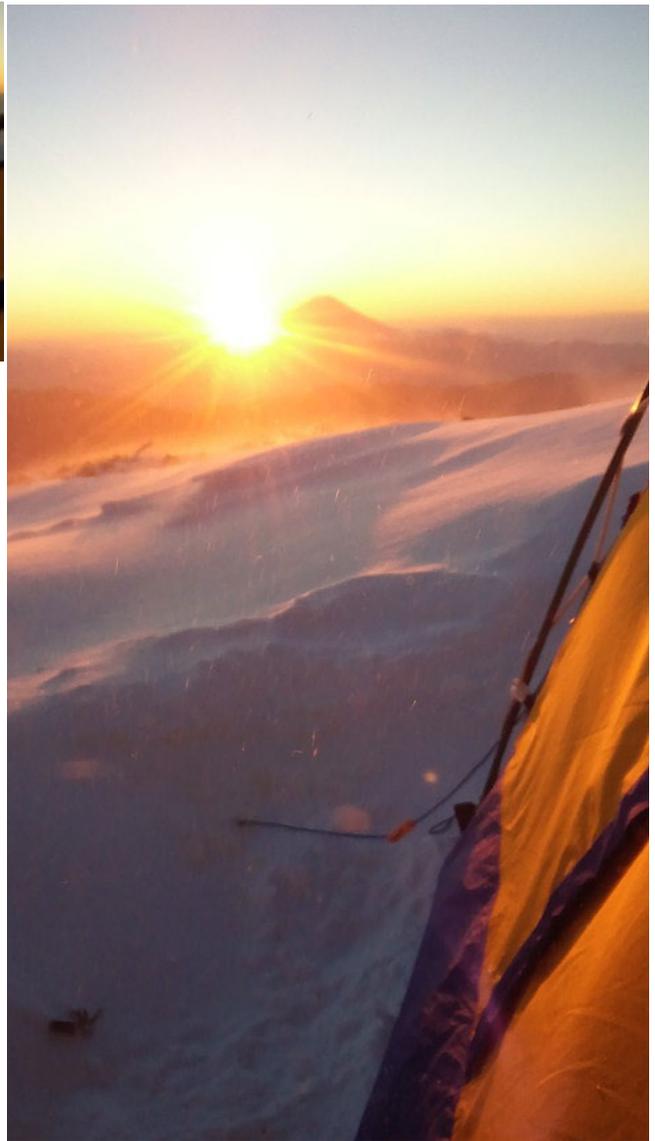
12/31

今日中に稜線まで抜きたいがそうも行くまい。最後の2500mピークを登って下ると、農鳥岳に向かったの急な登りに入る。

トレースも薄く残ってはいるが、見えたり見えなかったりするのでルートファイディングも必要。藪を漕いだりしながらも、着々と高度を稼ぐ。

かなり上の方に見える所に、平らそうな場所があるので、そこを目指して進む。途中ダブルアックスにしようと思ってザックを見るが、藪で落としてしまったらしく、ない。朝カラビナでロックしておこうと思っていたのだが、後の祭り。

急な斜面を登って行って、かなり雪が吹き溜まりになっているところを整地して泊。風は多少避けられるが、雪が降ったら埋もれそうである。本当は暗くなっても天気がいい今、抜けた方が気が楽だったが、山ちゃんのモチと体力がイマイチなのでここで泊る。明日も一応街は晴れの予報。大みそかである。とりあえず年越しそばを食べたら、結構お腹が一杯になってしまった。ワイドFMのラジオを聴きながら就寝。



初日の出!!

1/1

朝5時頃にトイレに行ったときは快晴無風だった。しかし、朝食の用意をしながら初日の出を見る頃には風が出て来る。朝食後全装備装着して靴まで履くが、地吹雪状態で出発するのは困難。そのまま風が収まるまで待機。

テントも吹き溜まりに張っているので、だんだんと雪に覆われて狭くなってきた。まあ、止むだろうとは思いつつも、じりじりと時間が過ぎていく。

なんとか大キジも行けるようになった所で、テントをたたみ、アイゼン、ピッケルを掘り出す。ここから、急な斜面だが雪があまり着いていないので、這松の上らしき所を、うまくルートファインディングしながら、登っていく。

上部左に登山道らしきトレースが見えるが、そのまま正面の岩稜に向かって登っていると、いきなり「明けましておめでとうございます」と登山道に現れたおじさんからの声。一般ルートまでもうすぐとわかって嬉しい。登山道に到着し、荷物を置いて農鳥岳往復。

大門沢下降点まで思い思いに下り、長い長い登山道大門沢小屋。水も出ていて相変わらず素敵な小屋である。一番に到着したので、いい場所を確保し宴会。正月用の黒豆と栗きんとんを出す、山ちゃんはもちろんお食べにならないので、お持ち帰り。まあ、気分と雰囲気である。



快晴の農鳥岳山頂

1/2

帰りのバスの時間に合わせて、最終日は今までで一番早起きして (!) ヘッ電つけながら、奈良田へ。奈良田温泉は2日まで休みで、やっているところは13時からの入浴だそう。バスに揺られ下部温泉へ。

駅裏の立派なホテルの日帰り入浴1080円に入って満足し、駅前の食堂で冷やっこ、馬肉の煮込み、鳥の煮込み、馬鹿（うましか）丼、さくら丼、生ビール、生ビール、生ビール。

しかし久しぶりに予定通り登れた年末年始だった。雪の少なさも幸いしたようだ。ちょっと嬉しい。

甲斐駒ヶ岳、黄連谷右俣

佐藤 正俊

日時：平成27年12月31日(木)～1月2日(土)

山域：南アルプス

メンバー：Uさん、Tさん、佐藤

行程： 31日：東京発→竹宇神社駐車場→7丈小屋、泊

1日：7丈小屋→6丈下降点→二俣→黄連谷右俣→山頂→7丈小屋、泊

2日：7丈小屋→竹宇神社→帰京

1. やっと登攀可能なコンディションに

今回、5度目の挑戦でようやく黄連谷右俣を完登する事が出来た。

24年シーズンは前日の大雪で裏同心ルンゼに転進。25年も前日の大雪で八ヶ岳クリスマスルンゼに転進、この時は黄連谷の雪庇崩落で名古屋在住の女性が滑落（この滅茶々々元気なお姉さまとは事故の3ヶ月後、退院直後に黒戸尾根で遭遇）している。

そして26年の冬は直前的大雨で滝氷が全て崩壊して断念。またこの年は8月に黄連谷右俣に行くが豪雨に遭い、やっと辿り着いた奥千丈ノ滝が雪渓に埋まって涙の敗退。最近は年内に大雪が降りやすく雪崩の危険性が高まるため本当に黄連谷登攀の機会を捉える事が難しい。そして今年は記録的な暖冬のため滝が凍らず12月初旬の挑戦を諦めたのだが、年末になっても雪が降らず絶好の黄連谷の登攀チャンスが到来した。

2. 黄連谷右俣の登攀

今回のメンバーは溪嶺会のUさん、ポレポレのTさんとの3人パーティー。

大晦日の早朝、東京を立ち午後3時過ぎに7丈小屋に到着する。素泊りの登山者は10人ほど。

Tさんが担ぎ上げた3ℓのビールと清酒、年越し蕎麦、エビ天、刺身、蒲鉾、酢だこ等で周囲の羨望の眼差しを受けながら豪華な年越し料理を平らげ大満腹。

こんなに幸せな山小屋泊は生まれて初めてかもしれない。

翌日は4時に起床し、ハーネス、アイゼンを装着して5時に出発。真っ暗闇の中だが今年には本当に雪が少なく、容易に「開力霊神」の碑がある6丈下降点に到着。6丈ルンゼの右岸沿いに下降し途中で6丈ルンゼを左岸に渡る。かなりの急傾斜だがトレースにも助けられ1時間ほどで、ようやく明るんだ二俣（坊主ノ滝上部）に到着。

既に70代の男性ペアが左俣に取付いており、右俣には昨年も出会ったソロクライマーと男性ペアが、先に取付く。

我々もアイススクリューを準備しアイゼンバンドを締め直して7時半に出発。氷は硬く慎重にアイゼンの歯を利かせながら急傾斜のルンゼを進むと一昨年夏の敗退した奥千丈ノ滝に到着。70度ほどの傾斜か？特に問題無さそうなので佐藤を先頭に全員フリーソロで登る。決して難しい氷壁ではないのだが緊張のためか脹脛が悲鳴を挙げています。その後はナメ滝や吹溜りのラッセルもあり、

カラムラ百巻号

甲斐駒ヶ岳、黄連谷右俣

佐藤 正俊



奥仙丈ノ滝、登り口の佐藤



奥仙丈ノ滝、登り口上部の佐藤



奥仙丈ノ滝、登り口のTさん、Uさん



奥ノ滝(3段)

最後の奥千丈ノ滝上部もノーロープで抜ける。時折、強風が吹くがトレースも続いており昼前にはインゼルに到着。

岩陰で強烈な風を避け、しばし小休止。この辺りで標高は2,400m。インゼルは本当に平坦な地形で左岸上部に立派な岩小屋もある。上方には山頂や奥ノ滝が見えており、その奥ノ滝をソロクライマーが登攀している。

標高2,600mの奥ノ滝は1段目と3段目を巻く。今回最も登り甲斐のあった高さ30mの2段目の氷瀑もノーロープで登る。結局、ロープも

アイスクリューも全く使うことなく頂上直下の稜線に到達。

稜線までの急登は苦しかったが心配していた風も治まり午後1時半過ぎに快晴の甲斐駒ヶ岳山頂を往復して、何とも贅沢な元旦～！！

午後3時過ぎには7丈小屋に到着し、またもビールと豪華正月料理で黄連谷の登攀祝いが延々と続く。右俣の初完登と豪華食材が本当に印象的な年越しとなりました～。

今回行けなかった小堀さんも早く回復して、来シーズンは是非一緒に登りましょう。

子連れハイク (4歳)

市瀬 江利子



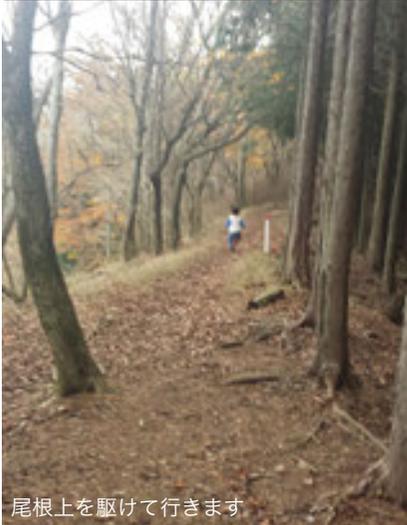
最初はこんな感じ



そして雑木林



ススキ野原



尾根上を駆けて行きます



展望台の上でお昼



この季節には珍しい
ピンクの花と赤い実

2015/11/21 岳ノ台 (899m) 子連れハイク No.30

メンバー： 初鹿、市瀬、他2
コースタイム：ヤビツ峠(12:55)ー岳ノ台 (14:00ー
14:30)ーヤビツ峠(15:00)

丹沢にある岳ノ台へ紅葉を見に行ってきました。
実は丹沢はあまり登った経験が無く、少し苦手な
山域でもあり、おそらく今回が初めてのヤビツ峠

です。

大山への登山口でもあるヤビツ峠には紅葉シー
ズンということもあり、車やバイクがたくさん泊
まっていました。いつもながら、遅出のため、到
着は既にお昼過ぎ。でも、この時間が幸いしたの
か、1台分だけ残っていたスペースに車を駐車し
ます。ここで、トイレに行ったりして準備を整え
ます。コースタイムが1時間の気楽さもあり、の

んびりしていたのですが、大山への登山口である東側は人で賑わっているものの、西側にある岳ノ台の登山道には人っ子一人いません。

なんとなく、不安に感じながら登りだします。最初はじめっとした狭い階段を登って行きますが、すぐに明るい雑木林の登山道となります。そこを抜けると、今度はススキに囲まれた登山道です。刈ったススキで子供は足を取られて転んでいましたが、ススキに囲まれてちょっと楽しいところです。尾根上にでると、そこはすっかり晩秋の趣です。振り向きもせずに、一人駆けて行く子供の後ろ姿を見たら、なんだかだんだん離れていってしまうようで、少し寂しさを感じました。

さて、一時間程で岳ノ台頂上へ到着します。あいにくの天気だったのですが、頂上の展望台より、うっすらと富士山も見ることが出来ました。早速、シートを広げ、遅いお昼を食べます。たまに日が差すと暖かいのですが、日差しがなくなると途端に寒くなります。

日が短くなり、時間も時間だったので、この日は、そのまま来た道に戻ります。帰りはかすかに残っていた紅葉を楽しみつつ下りました。鹿除けの柵を通り抜け、そのまま林道へと降り立つ近道を見つけます。林道を降りると車道はすぐそこです。そこから峠までもほんの2分程度でした。



11/28 六国峠ハイキングコース入口

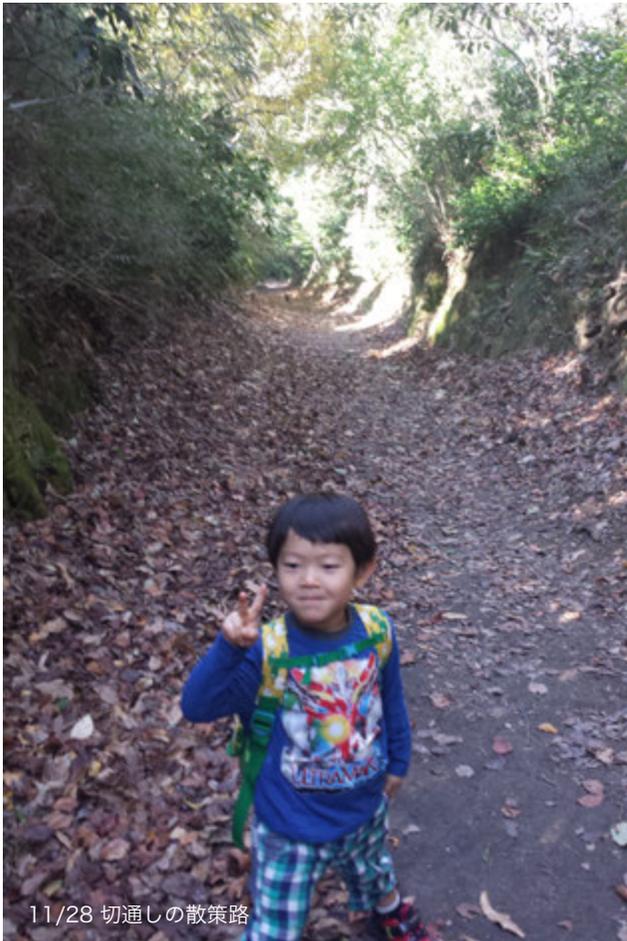
2015/11/28 金沢八景/六国峠 (?m) 子連れハイク No.31

メンバー： 初めて子供と二人で出かけてみました
コースタイム： 六国峠入口(11:52) - 一能見堂(12:14) - 金沢自然公園内、金沢動物園 (13:35)

たまった家事を終わらす予定だったのですが、あまりの天気の良さに、急遽、全ての家事を放棄して、六国峠のハイキングコースに行ってきました。ここは江戸時代の観光地（鎌倉・江の島・金沢八景）の周遊路の一部だそうで、今回は初めて、子供と二人きりのハイキングとなりました。

なんやかや準備をしているうちに、かなりの時間がたってしまい、またまた遅めの出発です。

京浜急行の金沢文庫の駅で降りると、リュックを背負った家族が何組かいたのですが、六国峠へ向かう家族はおらず、私たち二人は、駅を出てすぐ右手の線路沿いの道を歩き出します。道が綺麗に整備されていたのは最初だけで、すぐに住宅街の中の一般道になります。このあたり、標識の間



11/28 切通しの散策路



11/28 金沢八景と能見堂



11/28 金沢動物園に到着

隔が長いので、少し分かりにくいです。

住宅街を歩いて15分ほどで、六国峠ハイキングコースの入り口を見付けました。入り口で一人の男性とすれ違いましたが、その後、暫くは誰とも会うことなく、なんとなく心細い中、歩き続けます。石畳の切通しの後、木々に囲まれたうっそうとした散策路が続きます。すぐ脇は住宅街であるはずなのに、とても静かで、これほど自然豊かな道が残されていることに、驚かされます。

途中、能見堂など、歴史を紹介している看板もあります。が、子供は前を歩いているネコやら、

突然現れたりスに夢中で、この辺りは、まだまだ元気に歩いています。

暫くは森の中の散策路といった感じなのですが、暫く行くと行きかう人をちらほらと見かけるようになります。この辺りは、周辺の住宅街から道が繋がっているため、市民の散歩道にもなっているようです。

このハイキングコースは全体的に高低差はさほどないのですが、絶えず上ったり下ったりしているため、だんだんと体力を消耗していきます。横浜横須賀道路を眼下に見る頃には、子供も私もち



12/20 山頂駅から見た縞枯山



12/20 北横岳南峰

なりお疲れモードです。子供は「まだあ?」「動物園、まだあ?」と聞いてきます。動物園を餌に何とか、ここまで来ましたが、ここから動物園まではかなり長く感じました。高速をくぐり、最後の坂は子供の抱っこコールが始まり、結局、抱っこしながら登ります。ようやく動物園の駐車場が見えてきた時には心底、ほっとしました。

さて、子供はというと、動物園が見えたからには、もう元気いっぱいです。後は動物園の入り口まで放っておいても走って行きます。動物園はこぢんまりとして、小さい子供を連れて歩くのに、丁度いい感じでした。帰りは動物園から出ている、金沢文庫行きバスに乗ります。さすがに疲れたようで、電車に乗るやいなや、あっという間に眠ってしまいました。

2015/12/20 北横岳 南峰(2471.6m)& 北峰(2480m)

メンバー: 大坪、初鹿、市瀬

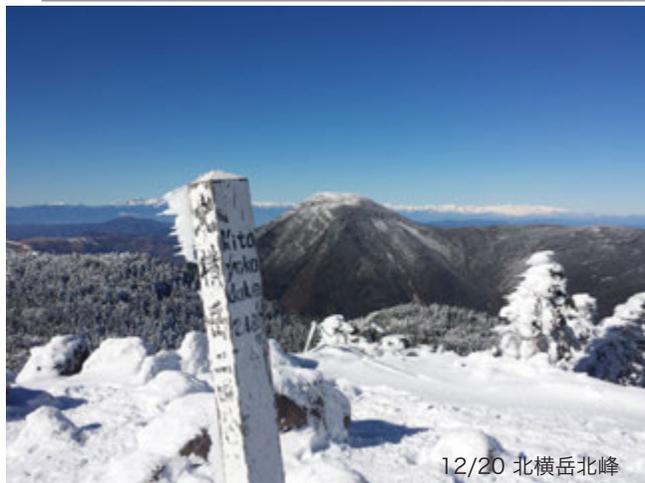
コースタイム: ロープウェイ山頂駅(10:45)ー北横岳南峰(11:55)ー北横岳北峰(12:00ー12:30)ー山頂駅(13:30)

この日を逃したら、今年はいつ冬山に行けるか

わからないと思い、急遽日帰り登山に行くことにしました。あいにく、今年はどこも雪が無く、日帰り圏内、かつ、リハビリ程度の冬山を探すのが難しかったのですが、事前に計画をしていた大坪先生達と合流し、なんとか冬山の気分を味わえそうな八ヶ岳の北横岳に合流させてもらうことになりました。

さて、前日に新宿7時発の特急スーパーあずさを予約します。ネットで35%引きで購入できたので、お得な気分です。行きがけに品川駅でチケットを引換え、茅野の駅で先発していた大坪先生のキャンピングカーに拾ってもらいます。一人で山に行けるのは、たしか昨年1月の赤城山地蔵岳以来です。

ロープウェイ頂上駅に着くと、やはり雪は少ないのですが、景色は立派な冬山で、わくわくします。登って行くにつれ冬山っぽくなり、楽しく話をしながら登って行きます。この日は快晴で、雪山ハイク日和です。1時間程で北岳の南峰に着くと、思っていたよりもずっと冬山らしい素晴らしい景色に感動します。暫く冬山に行っていないと、こんな手軽に登れるところでも十分で、いつかま



12/20 北横岳北峰

た冬山に登るぞという気持ちが湧き出てきます。北峰にも足を伸ばし、風が強く、かなりの寒さだったのですが、山頂でお昼を食べて、十分に冬山の寒さを堪能してから、下山します。アイゼンもとりあえず持っていたたのですが、結局、使う場所はありませんでした。

以前にも、冬の北横岳は行った事あったのですが、これほど、感動しなかったような。。やはり、環境次第で、感動するものも違ってくるものだと、つくづく感じました。今年は、もう一本、なんとか山スキーに行きたいものです。

2016/01/17

景信山 餅つきハイク (727 m)

メンバー： 山里、初鹿、市瀬、他多数

コースタイム：登山口 (10:30) - 景信山 (11:45)

今回で2回目の餅つきハイクです。そして、初めての背負子を持たない山行です。去年は途中から、子供を背負子に乗せて、汗をかきかき登ったのですが、なんと、今回は全て自分の足で登っていました。3歳から4歳へ。この一年でものすごく成長したんだなあと思える山行でした。昨年以上に寒い一日でしたが、懐かしいメンバーにも会



今年もお餅をつかせてもらいます。



懐かしいメンバーも一緒に！

えて、楽しい一日でした。帰りには新しくできた高尾山口の温泉で温まって帰りました。思っていたほど、混雑しておらず、広くて綺麗で、良い温泉でした。

アイスクライミング、延べ15日間

佐藤 正俊

日時：平成26年12月5日(土)～28年2月6日(土)

山域：八ヶ岳、南アルプス、上州

メンバー：佐藤ほか

行程：

- ①12月5日(1日目)：八ヶ岳春日溪谷
- ②12月19～20日(2&3日目)：八ヶ岳ジョウゴ沢&裏同心ルンゼ
- ③12月26日(4日目)：八ヶ岳南沢小滝
- ④12月31日～1月2日(5～7日目)：甲斐駒ヶ岳、黄連谷右俣
- ⑤1月9日(8日目)：八ヶ岳広河原沢、左俣
- ⑥1月16～17日(9&10日目)：八ヶ岳武藤返し&クリスマスルンゼ
- ⑦1月23～24日(11&12日目)：八ヶ岳南沢大滝&上州霧積
- ⑧1月30～31日(13&14日目)：佐久湯川&上州神津牧場
- ⑨2月6日(15日目)：荒船山相沢の氷柱

年末からUさんグループに同行し、「これでもか」と云う位、ほぼ毎週アイスクライミングに通い詰め、延べ15日間で17本以上の氷瀑を登る。

今シーズンは暖冬のため氷の発達が遅かったが、その分、降雪が少ない好条件にも恵まれ、足掛け5年間もの懸案だった黄連谷右俣もやっと完登する事が出来た。また集中した分だけアイスクライミングも上達し、自信も付いた。

そこで別原稿で報告する「黄連谷右俣」以外のアイスクライミングについて概要を報告する。

①12月5日

八ヶ岳、春日溪谷、春日ルンゼ

メンバー：佐藤ほか4名

前週、凍ったと云う情報を聞き、シーズン最初のアイスクライミングは春日溪谷に決まる。大河原峠の手前、仙境都市別荘地に車を止め下り始めるが雪は全くない。春日ルンゼは結氷が甘く、左側から高巻いて50mロープ2本を結んでトップロープをセットする。5人で4～5本登るが、高巻きのトップロープセットが核心だった。

その晩は神流の別荘に宿泊し、翌日はアイスクライミングを諦め、神流の岩場で岩トレをして帰

京する。アイスはじめにしてはマアマアでした。

②12月19～20日

八ヶ岳、ジョウゴ沢&裏同心ルンゼ

メンバー：佐藤ほか5名

2度目のアイスクライミングは赤岳鉱泉のテント泊。土曜日に東京を立ち、赤岳鉱泉にテント設営後、初日はジョウゴ沢に行く。

UさんのリードでF2の滝にトップロープを張り、各自3～4本登る。結氷の状態も良く、氷の感触を愉しむ。テント泊の宴会も盛上る。

翌日は裏同心ルンゼ。想定どおり既に3～4組が順番待ちをしているが、各パーティとも以外に

登攀が早く、待ち時間も殆どない。

2人ずつ3組に分かれ、佐藤はF君とパーティを組む。Uさんパーティに続いて佐藤がオールロードで登る。快晴、無風の絶好のコンディションに恵まれ、結氷状態もかなり良い。おまけに降雪が少ないため普段は雪に埋もれている滝を全て登る事が出来た。高度感もありチョットスリリングなアイスクライミングを満喫する。特にF2、3段の滝、50mがととても立派で印象的だった。

③12月26日

八ヶ岳、南沢小滝

メンバー:佐藤ほか3名

年内最後のトレーニングは日帰りの南沢小滝。今年の八ヶ岳は極端に積雪が少なくアプローチは至便だ。南沢小滝の結氷はやや甘いが好天無風の好条件のもと1日中貸切で小滝を登る。お隣の南沢大滝は十数名以上で大賑わいだが結氷も進みかなり大きく成長している。

いよいよ来週は黄連谷。今日の様なラッセルの無い好条件を期待して帰京する。

④12月31日～1月2日

甲斐駒ヶ岳、黄連谷右俣

メンバー:佐藤ほか2名

例年は積雪のため12月中旬で登攀シーズンを終える黄連谷が、降雪の少ない今シーズンは年末年始に絶好の登攀チャンスを迎えた。この機会を活かし足掛け5年目でようやく甲斐駒ヶ岳、黄連谷右俣を完登する事が出来た。元旦に到達した甲斐駒ヶ岳頂上も感慨深い。メンバーはお馴染みのUさん、Tさん、佐藤で積雪や好天に恵まれた上、おせち料理やビール3ℓ、清酒1ℓ、ワイン1本

と豪華な7丈小屋ライフを満喫する山旅（詳しくは別報告をご覧ください）となった。

⑤1月9日

八ヶ岳、広河原沢左俣

メンバー:佐藤ほか5名

前週の黄連谷の余韻と疲労が残る中、八ヶ岳、広河原沢ベースのアイスクライミングに出かける。今週も雪は無くアプローチは僅か1時間と快適。テント設営後、左俣の大滝へ。今回も好天の上、誰もおらず、大滝を貸切状態で登る。

帰路、Tさんが転倒し胸を強打する。原村別荘の夕食中も激痛が治まらず、念のため諏訪中央病院で救急診療を受診する。CT検査の結果は異常なし。

翌日は右俣をキャンセルし芦安の氷を偵察するが結氷の兆しは全く無かった。

⑥1月16～17日

八ヶ岳、広河原沢、武藤返し &クリスマスルンゼ

メンバー:佐藤ほか7名

今回は8名の大人数で広河原沢へ。初日は前回キャンセルした右俣の武藤返し。暖冬で登れる滝が少ないためか、武藤返しはボロボロ状態。それでもトップロープを張り各自3～4本登る。今日も暖かくしかも貸切。アイス初体験のHさんも平爪で果敢に挑戦する。

夜は広河原のジャンボエスパースで大宴会。Aシェフ特製のチーズフォンデュとジャガリコのマッシュポテトが美味でした。

翌日はクリスマスルンゼ。最近の冷え込みと降

雪量の少なさが功を奏したのか、今迄見た事の無い程クリスマスルンゼが巨大に成長し、青光りする氷壁が神々しい。今回も貸切状態。佐藤がリードで下の段も上の段もトップロープをセットする。チョット嬉しい！

(帰路は笹子で大雪。そしてこの晩、東京でも大雪。今年の黄連谷も終了か?)

⑦1月23～24日

八ヶ岳、南沢大滝&上州、霧積

メンバー:佐藤ほか3名

これまでずっと貸切状態のアイスクライミングに恵まれていたが、今回の南沢大滝は驚異的な大混雑。40人以上の人ばかりでトップロープも6～7本セットされている。しかしそれ以上に大滝も見事に成長しており、このまま帰るのは余りに勿体ない。思案の結果、2組に分かれリード&フォローで左端を登る。リード中にトップロープグループから邪魔だと文句を言われ、非常に腹が立つが、この混雑では仕方がない。早目に切上げ食材を調達して原村別荘で気分転換の宴会。カレー鍋と真澄のあらばしりが超美味でした。

翌日は混雑回避のため、霧積に転進。道中で偵察した湯川は多少登れるらしく、荒船山の昇天の氷柱、犬殺しの滝は未発達、相沢の氷柱には車2台の登攀者がいる様子。当の霧積の滝はやっと登れる程度の凍り具合。先行パーティと交互に氷瀑と氷柱を4～5本登って帰路に就きました。でも結構愉しく遊べました。

⑧1月30～31日

佐久、湯川&上州、神津牧場

メンバー:佐藤ほか9名

今回は10人で料理の美味しい佐久弁天館に宿泊のアイスの旅へ。

初日の湯川は大人数でのルート確保が心配だったが、激流で左俣の白髭エリアには渡れず先行の6人組が諦めて下山したお蔭で、水道橋脇のマイクロ～ワンソンにトップロープを2本セットする。乱菊下流の氷瀑にもガードレールからトップロープをセット。

定宿となりつつある弁天館では鯉の甘露煮などの料理に舌つづみを打ち、ナナーズで仕入れた清酒3本で大満足。

翌日は朝6時に朝食を済ませ、神津牧場に転進。先客を心配しながらインディアンサマー広場に着くと何と一番乗り！！やや結氷は薄いが十分登れそう。Yさんが右のアパッチにリードでトップロープを張り、佐藤とUさんが右から高巻きしてシャイヤンにトップロープを張る。両水瀑とも高さでは南沢大滝に劣るが、垂壁部の難しさ中々のもの。そして右側のアパッチの方が垂直部分がより長く難しい。アイスクリューを打込む練習を繰返し安定して登れる自信が付く。

今回の相沢の氷柱チャレンジに心が躍り、帰路は藤岡市でおやじのヒレカツ丼を完食して、超満腹になりました。



甲斐駒ヶ岳山頂のTさん



相沢の氷柱

◎2月6日

荒船山、相沢の氷柱(15日目)

メンバー:佐藤ほか3名

いよいよ相沢の大氷柱にチャレンジ。Uさん曰くこれがリードで登れたら、八ヶ岳の大同心大滝や摩利支天大滝は鼻歌で登れるヨ、との事。

荒船山の相沢登山口から80分で氷柱に到着。高さ50mの本当に巨大な大氷瀑で、半分以上が垂直なツララで出来ている。標高千m程の荒船山の中腹に、何故これ程立派な氷瀑が出来るのか本

当に不思議だ。大きさでは千波の滝の方が遙かに大きい、傾斜の強さは比較にならない。

早速Yさんがかなり苦労しながらリードで登り、佐藤がフォローで続く。10本のアイスクリューを回収しながら何とかノーテンションでトップアウトするが、核心部を超えてからの登りも長く、普通の壁の3倍以上の負荷を感じる。余りの長さで登り疲れ、リード挑戦は次回に(負け惜しみ、涙)。この滝をトップロープで計3回登り、帰京する。

景色を見ながら!

— 昨年の自己ワースト記録の雪辱なるか —

初鹿 裕康



— 第 35 回江東シーサイドマラソン —

毎年恒例の江東シーサイド。3連休でないから今年も倍率が高く10km申し込みのERIKOも抽選漏れしてしまった。2000人位はずれた模様。結局、3年連続1人で走ることになる。昨年は自己ワーストタイムを、たたき出した。今年は昨年に比べ体重がおおよそ3kg弱減。フルマラソンなら体重1kgあたり3分縮まるとか?? ハーフなら、4分半縮まる計算? 昨年のあまりのひどさに目標は40分は切ろうという感じ。最近レース中に足を攣ってしまうことが多いので、痙攣防止スプレーを背中のポケットに忍ばす。靴もレース用の靴がいよいよダメになって来たので購入。「アシックスライトレーサー TS 3」、久しぶりにGELでない靴を買ってしまった。でも軽い。モ

ノはついでに5本指のレース用ソックスまで購入。道具で勝負掛けるか・・・(@_@;)。

最初の1kmは4分20秒で入れたが、それが続くわけもないので4分30秒ペースの集団に着いていこうと思って、なんとか頑張る。でもまあ、4分30秒の集団?からは徐々に遅れだしてしまう。でも1km5秒前後のタイム差はあるものの、1km4分45秒くらいが丁度走りやすく、息もあんまりぜいぜいしないので走れる。残り5km位で向かい風になり5分をオーバーしてしまう。ヤバッ。足はかなり残っているの、4分45秒ペースで頑張る。同じくらいのペースで来ているので身体に負荷がかかって来ず、気持ちいい。ラストスパートをかけられそうな勢いでなんとか40分を切ってゴール出来た。

11/29第35回江東シーサイドマラソン

★ハーフ壮年男子の部★

エントリー数:出走者数:679名完走者数:635名
65位1時間39分40秒

それにしても去年は自己ワーストだと思っただけで、40分オーバーしたことをすっかり忘れていた。後で調べたら、1時間40分を軽くオーバーする1時間42分38秒だった。ダメダメじゃん。嫌なことの記憶は忘れるもんだね。体重減のおかげか予想通り?3分位縮まった。

— 第 64 回 勝田マラソン —

ネットサーフィンをしていたら、「明日締め切り」の文字。参加料も5000円だったので、ついうっかり申し込んでしまう。朝の特急電車で行けば日帰りでも間に合いそうだし。そこで、なんかんだ安い切符を探していたら、「ふるさと割」

景色を見ながら！

－ 昨年の自己ワースト記録の雪辱なるか －

初鹿 裕康



とかいう地方創生事業で茨城のツアーは宿泊1人につき5000円引きとか。もしかすると泊った方が安いかな。水戸のプレジデントホテル1泊朝食付きで、「大人の休日倶楽部」カードとか、いろいろうまく使って、総支払金額家族3人で14000円弱で申し込めた。1人5000円弱、安。電車往復だけで1人7500円強かかるからねえ。とってもお得だ。

さて、肝心のレース。ナンバーカードと靴に付けるチップは事前に送られてくるので、当日の受付はなし。スタートも10:30なので結構のんびりできる。水戸から一駅で勝田。駅を降りるとすでにラッシュ状態。会場行きのバスも満員のようなので10分ほどかけて歩いて会場へ。スタートま

ではのんびり過ごすがスタート30分前にはスタート地点に並ぶ。前から3ブロック目。10000人強参加のレースでは、さすがにスタートと同時に走りだす訳にはいかず、まずはゆっくりとジョグ。スタート地点を抜けるのに1分かかる。大通りに出ても、人、人、人。人を縫って前に出るしかない。後ろから走ってきた選手が歩道の方から抜こ

カラムラ百巻号

景色を見ながら!

ー 昨年の自己ワースト記録の雪辱なるか ー

初鹿 裕康

うとして、歩道の段差にけつまずいて、思いつき
り転んでしまっていた。大丈夫か・・・?最初の1
kmを6分05秒かかる。そこからは4分45秒
くらいのペースで走ることになる。去年の「古河
はなももマラソン」では前半飛ばしていったら後
半ものの見事につぶれたので自重する。5分で走
れば3時間30分ペースで行ける。去年は足が攣
ったこともあって4時間近くかかってしまったの
で、雪辱戦。10kmまではこのペースなので余裕で
走れる。あまり苦しくない。レースじゃないみたい
。15kmを過ぎたあたりで急な下りと登り、そろ
そろきつくなって1km5分ペースになって来るが、
ハーフまではまあ順調だ。途中最後尾から走って
来たらしいゲストのワイナインに抜かれる。余裕
で走っているもんなあ。ハーフを過ぎてからが踏
ん張りどころ。ここからがフルマラソンの楽しい
(厳しい)ところか?。エイドステーションはそ
んなに多く設けられてはいないが、私設のエイド
がかなりあって、余り物を考えないで走れる。気
温もちょうど良く、そんなに汗をかいている感じ
ではないので喉もあまり乾かない。途中チョコレ
ートや飴やら子供が持っていたりして、家族ぐる
みで私設エイドをやっているところも多数。しか
しと言うかやっぱりと言うか、攣り防止スプレー
をふんだんに使って、昨年の二の舞は踏まないつ
もりだが、さすがにペースが落ちてくる。途中温
かい瓶牛乳のエイドステーションがあって、一瞬
気をそそられるが、お腹が痛くなりそう(ーメ
)なので、パスしてゴールを目指す。ナンとか30
分切りたいと思ってはいたが、ちょっと届きそう
になくなってくると、40分も怪しくなってくる。
せめてネットタイムで40分は切ろうと頑張って、

ラストスパートかけて走る。ラストスパートかけ
る足は残っていたね。39分58秒位でゴールを駆け
抜けて、切れただろうと思っていたら記録証に
は40'01 まあこんなもんかな。

やはり、後半が落ちる。まあ練習してないから
ねえ。でも去年より12分位復活したので、次回
は30分切れるように頑張ろう。でも、フルマラ
ソンはしばらくいいかなあ。でも、申し込まない
とモチベーションが・・・。ジレンマ・・・。

帰りに近くの風呂に入ったら、なぜかお腹がし
みる。良く見たらおなかがシャツで擦れていた。
腹引っ込めないと・・・。

1/31第54回勝田マラソン(42.195km)
一般男子2757/10990年代別50歳代569/2188

結果↓

5Km 25' 11
10Km 49' 06 23' 55
15Km 1° 13' 28 24' 22
20Km 1° 38' 24 24' 56
中間1° 44' 00
25Km 2° 04' 07 25' 43
30Km 2° 30' 52 26' 45
35Km 2° 59' 30 28' 38
40Km 3° 28' 32 29' 02
ゴール 3° 40' 59 12' 27
ネット 3° 40' 01

35kmまでは去年は2° 57' 38だったが30～
35kmを既に30' 13かかってしまっていて、その
後つぶれた。今回はすべての区間で1km6分には
ぎりぎりならなかったの、まあいいか。前半も
う少し速めでも良かったかも。大体1/4くらいに
は入れたかな。去年の古河はなももマラソンでは
2768/6763位だったのでそれに比べれば4000人
位速くなった??? (@_@;)

なほみさんのいつまでやってんだクライミング日記。

— 怒涛の年末年始進行 12月～2月—

水野 奈保美



年末年始は、おかげ様でなんとか大堂へ行けました。2度目にして大満喫。パートナー問題などが起きいろいろと精神的にはさいあくだったのだけど、青い海青い空@大堂少しは登れるようになったような気持ちにさせておいて、湯河原@スパイダーマン、やっぱり奥多摩@イクイノシシでヤラれました。キッビし～の巻のダイジェスト。

12月

12/5 城ヶ崎@あかね

・ほたて×× コモドドラゴン×

12/12 城山@プリムラ祭(1)

・南壁マルチとショートルート

プリムラ百巻号

なほみさんのいつまで"やってんだ"クライミング日記の

ー 怒涛の年末年始進行 12月～2月ー

水野 奈保美



12/13 @プリムラ祭 (2)

・雨→ベースキャンプ

12/19 城山@平嬬

・マルチ何本か 修善寺温泉泊 快適～

12/20 湯河原@平嬬

・アップ1 くもさん1 ほか2本程度

12/25 夜～1/3

大堂海岸ドタ参で～@JECC/O川M田、ぶな/Y田川、やまとだましい/K坂Y崎 (敬称略)

今回の大堂ツアーは面白いことだらけだったけど詳細は省略して青い空のお写真でお送ります。たくさん登ってたくさん食べてたくさん飲んで、あれこれ反省したりいろいろと勉強させてもらったり、とても

良い遠征でございました。快く受け入れて下さった皆様には、心から感謝しております。本当にありがとうございました。

・12/26 小赤壁→大堂

・12/27 モンキーエリア/スーパクラック、モンキー右、ぐいのみなど 檜西公園泊30日までキャンプ)

・12/28 帰らずエリア/3本くらい

・12/29 お座敷エリア→洞窟エリア/4本くらい

・12/30 モンキー (K坂・Y田川帰る)

・12/31 休み@足摺岬までドライブ 中田旅館泊

・1/1 さいはてエリア/迷い道くねくね はたご泊

・1/2 モンキー→宝塚泊

・1/3 宝塚→東京

カリムラ百巻号

なほみさんのいつまで"やってんだ"クライミング日記の

ー 怒涛の年末年始進行 12月～2月ー

水野 奈保美



その後の1月

1/17 湯河原@平嬢

・アップ1 くもマンtr×3 まだまだ多テンだけどが
んばりました。

1/24 湯河原@平嬢

・くもマンtr×3 わからないところ多し

1/31 湯河原@平嬢

・くもマンtr×3

平嬢は私に合わせてくれたのかだいぶゆっくりな
RP. わからないところは減った。

2月

無計画な12月～1月のせいでさいあくな2月。

2/11 氷川屏風@こーちゃん

・イクイノシシtr×2

これは素晴らしく出来ない。奥多摩うぎゃー！

いやー1月は湯河原なのに寒かった～。スパイダー
マンは噂どおりとってもエレガント。自分のコンディ
ションを合わせればいつかは行けるかも。ところが
奥多摩@屏風様は見た目&想像以上にげきわるで、
すっげー凹んだ。奥多摩うぎゃー (しつこい)

プリムラ百巻号

山行一覧(1) 2015年11月13日～2016年1月2日

No.	山行日	山域	ルート	参加者	区分
3991	11月13日	上越	一ノ倉沢幽ノ沢	岡	写真
3992	11月15日	伊豆	城ヶ崎	水野・他	フリー
3993	11月15日	西上州	高岩	初鹿・他1	岩
3994	11月12日	甲信	小川山	水野・他2	フリー
3995	11/21～22	日光	男体山・女峰山	平・佐藤・他1	縦走
3996	11月21日	丹沢	岳ノ台	初鹿・市瀬・他2	ハイク
3997	11月22日	奥多摩	越沢バットレス	桜井・他1	岩トレ
3998	11月29日	奥多摩	越沢バットレス	桜井	岩トレ
3999	11/28～29	御坂	裏三ツ峠	岡	写真
4000	11/28～29	伊豆	城山・海金剛	佐藤・他1	フリー
4001	11/28～29	奥秩父	和名倉山～飛龍山	平・他1	縦走
4002	11月28日	富士	石割山	北原・他1	ハイク
4003	12月5日	伊豆	城ヶ崎 @ あかね	水野・他1	フリー
4004	12/5～6	信越 / 西上州	春日溪谷 / 神流の岩場	佐藤・他3	アイス / フリー
4005	12/5～10	北ア / 八ヶ岳	新穂高～滝谷 / 編笠山、権現岳	岡	写真
4006	12/12～13	伊豆 / 湯河原	プリムラ祭 湯河原民宿泊 (12 城山 / 13 幕山・武蔵藤沢ベースキャンプ)	岡・水野・佐藤・桜井・平・他2	フリー / ハイク
4007	12月12日	奥多摩	赤ボッコ	初鹿	トレラン
4008	12/19-20	八ヶ岳	ジョウゴ沢裏同心ルンゼ	佐藤・他多	アイス
4009	12/19～20	伊豆 / 湯河原	城山 / 幕岩	水野・他1	フリー
4010	12/19～21	西上州 / 上越	赤城山・地藏岳 / 谷川岳・一ノ倉沢	岡	写真
4011	12月20日	甲信	本社ヶ丸	平・他1	ハイク
4012	12月20日	西上州	古賀志	桜井・他1	フリー
4013	12月20日	八ヶ岳	北横岳	大坪・初鹿・市瀬	雪山
4014	12月23日	東北	岩城・青葉	佐藤・他4	フリー
4015	12月26日	八ヶ岳	南沢小滝	佐藤・他2	アイス
4016	12月26日	奥多摩	青梅丘陵	初鹿	トレラン
4017	12/26～1/3	中国 / 四国	兵庫・小赤壁 / 高知・大堂海岸	水野・他5	フリー
4018	12/31～1/2	南ア	甲斐駒・黄蓮谷	佐藤・他2	バリ
4019	12月30日	湯河原	幕岩	桜井・他1	フリー
4020	12/29～1/2	南ア	大唐松尾根～農鳥岳	初鹿・山里	バリ
4021	12/31～1/2	奥多摩	西谷避難小屋～雲取山～鷹ノ巣避難小屋	平	縦走

カリムラ百巻号

山行一覧(2) 2016年12月31日～2月12日

No.	山行日	山域	ルート	参加者	区分
4022	12/31～1/4	南ア/北ア	仙丈岳/甲斐駒ヶ岳/滝谷	岡	写真
4023	12月31日	富士	金時山	北原	ハイク
4024	1月2日	北ア	上高地	北原	雪山
4025	1/3～4	伊豆/湯河原	城山/幕岩	桜井・他1	フリー
4026	1月5日	南ア前衛	入笠山	初鹿	山スキー
4027	1月10日	西上州	古賀志山	桜井・他2	フリー
4028	1月10日	八ヶ岳	広河原左俣	佐藤・他5	アイス
4029	1月10日	茨城	筑波山	岡	写真
4030	1月11日	道志	高尾山	初鹿・他2	ハイク
4031	1月11日	東北	那須・茶臼岳	岡	写真
4032	1月14日	茨城	筑波山	岡	写真
4033	1/16～17	八ヶ岳	広河原沢/ムトウ返し & クリスマススルンゼ	佐藤・他7	アイス
4034	1月17日	奥多摩	越沢バットレス	桜井	岩トレ
4035	1月17日	湯河原	幕岩	水野他1	フリー
4036	1月17日	道志	景信山餅つき	初鹿・山里・市瀬・他多	ハイク
4037	1/23～24	八ヶ岳	南沢大滝 & 霧積高原	佐藤・他多	アイス
4038	1月23日	信越	信州・ロイヤルヒルススキー場～シラカバ2in1	初他1	山スキー
4039	1月24日	湯河原	幕岩	水野・他1	フリー
4040	1月24日	南ア前衛	入笠山	初鹿・他1	山スキー
4041	1/25～27	八ヶ岳	稲子湯～クロユリ平～稲子湯	岡	写真
4042	1/30-31	信越	神津牧場	佐藤・他8	アイス
4043	1月31日	湯河原	幕岩	水野・他1	フリー
4044	1月31日	甲信	高川山	平	ハイク
4045	2月6日	西上州	荒船山・相沢の氷柱	佐藤・他3	アイス
4046	2月6日	房総	鋸山	初鹿・市瀬・他2	ハイク
4047	2/6～7	上越	阿寺山/神楽峰	北原・他	山スキー
4048	2月7日	奥秩父	熊倉山	平	ハイク
4049	2月8日	東北	那須・茶臼岳	岡	写真
4050	2/11～12	八ヶ岳	黒百合平/地獄谷出合	岡	写真
4051	2月12日	秩父	美の山	初鹿・他2	ハイク

カリムラ百景号

2015 撮影実績表 岡 孝雄

No.	期間	山域	ルート	撮影日	撮影対象
1	1月2日	筑波		1月2日	小貝川(霜)
2	1月4日	上毛	赤城山	1月4日	不動沢・大滝(水瀑)
3	1月5日	茨城	大洗海岸	1月5日	満潮(波)
4	1月7日	茨城	大洗海岸	1月7日	波
5	1/10 ~ 1/14	八ヶ岳	湯川溪谷	1月10日	湯川溪谷(水瀑)
		南ア前衛	日向山林道	1月11日	水瀑
		御坂	山中湖・仙波の滝	1月12日	富士・水瀑
		北八	醤油樽の滝	1月13日	水瀑
		筑波	小貝川	1月14日	霜
6	1月16日	茨城	大洗海岸	1月16日	波
7	1月24日	那須	茶臼岳	1月24日	山頂雲取れづ
8	2/1 ~ 2/3	上信越	浅間山	2月1日	浅間美術館
			浅間山	2月2日	浅間山・トーマスの頭
			赤城山	2月3日	地藏岳
9	2月10日	那須・筑波	茶臼岳小貝川	2月10日	那須峰の茶屋迄ダイヤモンド
10	2月12日	筑波	小貝川	2月12日	小貝川
11	2月13日	日光	中禅寺湖(沢・崎)	2月13日	中禅寺湖・華厳滝
12	2月15日	筑波		2月15日	小貝川
13	2/21 ~ 22	北八	根石岳(夏沢鉱泉・根石岳山荘)	2月21日	硫黄岳
14	3月11日	茨城	大洗海岸	3月11日	波
15	3/13 ~ 14	北ア信越	鳥兜	3月13日	白馬山麓
				3月14日	鳥兜
16	3月16日	那須	朝日岳	3月16日	那須・朝日岳
17	3月18日	筑波		3月18日	小貝川(菜)
18	3/20 ~ 3/22	北ア	錫杖岳・西穂	3月20日	錫杖岳・西穂山荘
				3月21日	西穂・独標
				3月22日	白馬・松川
19	3月24日	筑波	小貝川	3月24日	菜の花
20	3月28日	上越	谷川岳	3月28日	一の倉沢往復
21	3月31日	筑波		3月31日	小貝川(菜の花)
22	4月2日	筑波	小貝川菜花筑波桜	4月2日	小貝川筑波山
23	4月4日	筑波	小貝川菜花	4月4日	小貝川菜花

2015 撮影実績表 岡 孝雄

NO	期間	山域	ルート	撮影日	撮影対象
24	4/8 ~ 4/10	頸城		4月8日	能生道の駅・笹倉陰線
			放山	4月9日	放山
		筑波		4月10日	小貝川菜花
25	4月12日	筑波		4月12日	小貝川菜花
26	4月16日	筑波		4月16日	小貝川菜花
27	4/17 ~ 4/18	頸城	放山	4/17.18	放山
28	4月19日	筑波	小貝川	4月19日	小貝川菜花
29	4/23 ~ 4/26	後立	五竜岳遠見尾根	4月23日	中遠見
				4月24日	大遠見
				4月25日	戸隠鏡池・鳥甲
				4月26日	小貝川
30	5/10 ~ 5/11	上越	上州武尊・谷川岳	5月10日	上州武尊
				5月11日	谷川岳一ノ倉・ユノ沢
31	5月17日	上越	谷川岳	5月17日	谷川岳・一ノ倉沢
32	5月20日	頸城	放山	5月20日	放山
33	5月21日	頸城	放山	5月21日	放山
34	5月22日	頸城	放山	5月22日	放山
35	5月25日	筑波	小貝川	5月25日	小貝川(麦9)
36	5月26日	筑波	小貝川	5月26日	(麦)
37	5月27日	筑波	小貝川	5月27日	小貝川(根食)(麦)
38	Jun-15	上越	巻機山	6月1日	巻機山・井戸尾根
39	6月2日	上越	松代	6月2日	松代棚田(星峠)
40	6月7日	北関東	足利・栃木	6月7日	足利フラワーパーク・栃木蔵町
41	6月10日	上越	赤城山・尾瀬	6月10日	赤城山大滝・桧枝岐緑滝
42	6月11日	会津	駒止湿原	6月11日	駒止湿原ワタスゲ
		北関東	塩原スッカカン沢	6月11日	スッカカン沢
43	6月13日	筑波	小貝川	6月13日	小貝川(麦)
44	6月17日	筑波	筑波山	6月17日	山頂
45	6/21 ~ 6/23	東北	鳥海山	6月22日	鳥海山御浜
				6月23日	鳥海山・桑ノ木湿原
46	6月28日	筑波	宝匡山	6月28日	宝匡山
47	6月30日	筑波	筑波山	6月30日	筑波山
48	7/4 ~ 7/5	八ヶ岳	硫黄岳	7月4日	硫黄岳杣添尾根

カミムラ百景号

2015 撮影実績表 岡 孝雄

No.	期間	山域	ルート	撮影日	撮影対象
49	7/11 ~ 7/13	八ヶ岳	権現岳	7月11日	乙女の森~三つ頭
				7月12日	権現岳~キレット小屋
				7月14日	乙女の森
50	7/24 ~ 8/17	パキスタン	バルトロ氷河		コンコルディア BC
51	9/16 ~ 9/17	上越	谷川岳	9/16/17	天神尾根・肩の小屋泊
52	9月20日	東北	那須朝日岳	9月20日	那須朝日岳
53	9/23 ~ 9/24	南ア	仙丈ヶ岳	9月23日	小仙丈~仙丈小屋
				9月24日	藪沢
54	9月28日	東北	那須朝日岳	9月28日	朝日岳
55	9月30日	東北	那須朝日岳	9月30日	朝日岳
56	10/4 ~ 10/7	南ア八ヶ岳	仙丈岳・硫黄岳	10月4日	小仙丈から小屋
				10月5日	藪沢
				10月6日	桜平~硫黄岳山荘
				10月7日	下山
57	10月9日	東北	那須朝日岳	10月9日	峰の茶屋まで(強風)
58	10/15 ~ 10/18	上越尾瀬	谷川岳	10月15日	一ノ倉ユーノ沢往復
			尾瀬	10月16日	アヤマ平富士見下より
				10月17日	鳥甲(夜景星)
			日光	10月18日	日光・金精山
59	10/22 ~ 10/23	上越・日光	谷川岳	10月22日	一ノ倉・ユーノ沢
			日光小田代ヶ原	10月23日	日光小田代ヶ原
60	10/25 ~ 10/26	信越	渋峠横手山	10/25/10/26	横手山ヒュッテ(龍写)
61	10月30日	筑波	小貝川	10月30日	小貝川(星)
62	11月1日	筑波	小貝川	11月1日	小貝川(星)
63	11月3日	筑波	キノコ山	11月3日	キノコ山(八郷)
64	11月4日	筑波	母子島	11月4日	母子島(山頂左)
65	11月13日	上越	谷川岳	11月13日	一ノ倉ユーノ沢往復
66	11月16日	筑波	筑波	11月16日	キノコ山
67	11月21日	筑波	筑波	11月21日	八郷(俯瞰) 西光院
68	11月27日	大洗		11月27日	大洗海岸
69	11/28 ~ 29	御坂	三つ峠	11月29日	三つ峠
70	12月1日	筑波		12月1日	母子島・小貝川

プリムラ百景号

2015 撮影実績表 岡 孝雄

No.	期間	山域	ルート	撮影日	撮影対象								
71	12/5 ~ 12/10	穂高	新穂高温泉	12月6日	錫杖岳(鍋平高原)								
				12月7日	錫杖・滝谷出合								
				12月8日	編笠山								
				1月3日	新穂高~滝谷出合								
				12月9日	権現岳								
				12月10日	小貝川(茜雲)								
72	12/12 ~ 12/13	湯河原			プリムラ祭								
				12月14日	筑波	小貝川(朝焼け)							
				12月17日	筑波	小貝川(川鶴) 6:20							
				75	12/19 ~ 12/21	赤城		12月19日	赤城地藏岳(JAPA)				
								12月20日	JAPA				
								12月21日	一の倉沢(四季)				
				76	12月23日	筑波		12月23日	小貝川(根食)				
				77	12月26日	筑波		12月26日	小貝川				
				78	12月27日	筑波		12月27日	小貝川				
				79	12月28日	筑波		12月28日	小貝川				
				80	12/31 ~ 1/4	南ア北ア	仙丈岳・滝谷	1月1日	仙丈岳				
								1月2日	甲斐駒ヶ岳				
								1月3日	新穂高~滝谷出合				
								81	1月4日	筑波		1月4日	小貝川
												1月10日	筑波山
1月11日	那須茶臼岳	1月11日	那須茶臼岳										
1月14日	筑波山	1月14日	小貝川・筑波山頂・霞ヶ浦										
1月16日	小貝川	1月16日	小貝川										
1月19日	小貝川	1月19日	小貝川・雪										
1月22日	小貝川	1月22日	小貝川・霞ヶ浦										
	1/25 ~ 1/27	北八ツ		1月25日	稲子湯周辺								
				1月26日	黒百合平周辺								
				1月27日	稲子湯周辺								
				2月5日	小貝川	2月5日	小貝川						
				2月8日	那須茶臼岳	2月8日	那須茶臼岳						
				2月11日	八ヶ岳	2月11日	黒百合平周辺						
				2月12日	八ツ東面地獄谷出合								

編集後記ですよ



新しい道具で技術は上がるか？昔、アイスクライミングをちょっとやっていた頃、セミチューブと言う素晴らしい道具があった。アイスにはガンガン刺さったので、調子に乗ってホンチャン行ったら、アイスの出口の草付には全く効かず焦ったことがある。一つの方面からみると素晴らしい道具でも、総体的にみないと痛い目に遭うことを思い知った瞬間は、切羽詰まった場所だった（怖）。（H）

ろくな原稿書いていないけど表紙に大堂モノを使わせてもらったよ。（最初は全面大堂にしていた）ナカミもシンプルにした（気合入れて作っちゃうと次が困るかなと）。休みたいって言ってんのに誰も本気にしてくれないし。特に引き継ぎ的なことは考えてないです。使いなれたソフト（今風にいうとアプリ？）と頭を使えば良いだけのことです。1年でいいから誰か替わって。もう疲れたよパトラッシュュ…（M野）

